

# 家族の気持ち

## ～行動障害のある人の地域生活と 支援の実践～

東京都強度行動障害支援者養成研修  
社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会

赤川 剛（進行：ひだまりの里きよせ）

# 「家族の気持ち」の流れについて

- ①事例の概要説明（赤川より） ＊ 5分
- ②家族の気持ち（菊間さんより） ＊ 25分
- ③短期利用中の支援（岩上支援員より） ＊ 15分
- ④家族、支援者の対談 ＊ 15分

# 対象者の情報

## 対象者

- 年齢：36歳
- 性別：男性
- 愛の手帳：2度
- 支援区分：5
- 障害：知的障害、自閉症
- 行動上の主な問題
  - ・物の位置が気になる
  - ・気になると、対象物に向かうこともある
  - ・激しい自傷行為

# 対象者の情報

## ●経過

- ・ 生後から令和6年5月現在、在宅にて生活
- ・ 高校卒業後、作業所に通所中（18年目）
- ・ ひだまりの里の短期入所を定期利用（7年目）
- ・ ひだまりの里に入所予定（令和6年6月末）

# 家族の思い

36年間の家族の軌跡とこれからの支援者に望むこと

菊間 英子

# 幼少期

- 1歳半…長男とは違う違和感、不安、MRI検査
- 様々な療育
- 幼稚園入園
  - ・ 週に一度の療育は継続
  - ・ 年中クラスより、一人先生が加配
- 辛かったエピソード

# 小学校時代

- 特殊学級
  - ・ 1年生から3年生
  - ・ 本人からの意思表示
- 特別支援学校へ転校
  - ・ 4年生から6年生
- 親から離れての合宿
- 療育は継続

# 中学校時代

- 特別支援学校 中等部
  - ・ 最重度のクラスには入れず...
- 芸術活動に夢中になる
- 初めて、行方不明になってしまう



# 高校時代

- 特別支援学校 高等部

- ・ スクールバスに乗車できず、毎日の付き添い

- マラソンクラブ、美術展に入選

- 精神科に通う

# 福祉作業所（現在18年目）

- 2年目頃より、拘りが強くなる
- 駐車している車があると2時間は動けない
- 立ち話をしている人に突進してしまう
- 家族が、円形脱毛症になってしまうことも

# 自傷

- 25歳～28歳までの4年間
  - ・ きっかけは不明
- 頭を何度も強くたたく→顔や手に移行
- ボクサーの試合後のように顔が腫れ上がることも

# ひだまりの里きよせ短期入所

- 30歳の頃より、月に一回程度利用
- 本人にとって、家族にとってのひだまりの里
- ヘルパーを含めた、専門職との関りを通して

これからの支援に望むこと

ご清聴ありがとうございました

# 短期入所利用中の支援について

## ～行動障害のある人の地域生活を支える～

社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会  
清瀬育成園ひだまりの里きよせ  
岩上 正憲

# はじめに 法人紹介

法人名	東京都手をつなぐ育成会
統一ミッション	私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。
昭和25年	手をつなぐ親の運動『3人の母親たち』
昭和36年	知的障害児者の教育・福祉・労働・医療等の制度や施策の向上を願い活動していた東京の各地域の <u>親の会の連合体として発足した。</u> （翌年には社団法人となる）
昭和37年	社会福祉法人認可 民営授産事業や東京都より委託を受け東京都江東通勤寮の開所をはじめとした事業をすすめていく
現在の事業	直営・指定管理を含め、 <b>59か所の事業所、92か所のグループホームを運営している。</b>



# はじめに 施設紹介（概要）

沿革	平成25年10月 東京都が民間移譲事業者を公募 平成29年5月 東京都から民間移譲を受け事業を開始 (福祉型障害児入所施設である東村山福祉園)
サブミッション	「すべての利用者が地域の一員として主体的に活動し、暮らしていけるように支援します。」
事業	施設入所支援、生活介護 60名 (現在男性49名、女性9名) 就労継続支援B型 12名 (現在12名) 短期入所 10名 (男性7名、女性3名) 相談支援 (計画相談など)
平均年齢	施設入所・生活介護 36歳 重度支援加算Ⅱ 54名
愛の手帳	施設入所・生活介護 1度 (10名) 2度 (46名) 3度 (2名)
障害支援区分	施設入所・生活介護 区分6 (56名) 区分5 (2名)

- 平均年齢が低く若い方が多い。
- 重度知的障害に行動障害を伴う方が多い。 (多くの方が自閉症である)

# はじめに 施設紹介（ユニット）



居室



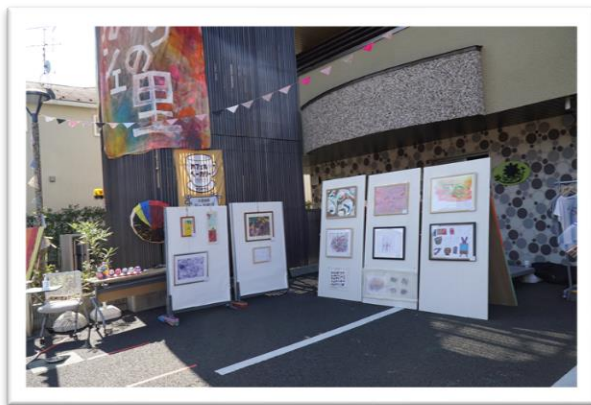
廊下



ダイニング

- 1ユニット7人定員ですべて個室。
- 10ユニットあり、障害特性や行動特徴に合わせてユニットを編成。
- ほとんどの支援員が強度行動障害支援者養成研修を受講。

# はじめに 施設紹介（日中活動）



# 短期入所利用までの経緯

- ・ 市内の短期入所事業所が閉鎖
- ・ ひだまりの里が開設した年より利用開始  
(平成29年10月)
- ・ 1泊の利用から慣れていき、  
定期的に3泊4日の利用
- ・ 日中活動は、受注作業など

# 短期入所利用中の課題①

- ご家族からの希望

- ・ Kさんに生活の中で役割をもって、  
過ごしてほしい。



- ・ 体制の課題もあるが...
- ・ 何より、施設全体として、自閉症、  
行動障害の状態にある方への  
支援力不足

# 課題に対して①

## アセスメントに重点をおく



文字のマッチング、封入作業

# 課題に対して①

- 支援力向上のため、様々な勉強会開催
  - ・ 構造化
  - ・ コミュニケーション／PECS
  - ・ ABA
  - ・ 自立課題
  - ・ てんかん、誤嚥性肺炎
  - ・ 感覚統合など

# 課題に対して①

## ●環境調整

- ・安心して利用できるように、毎回、同じ居室を用意
- ・他の短期利用者とのマッチング
- ・散歩や買い物など、余暇の楽しみ



次第に安心して、利用できるようになりつつある。



# 短期入所利用中の課題②

- ユニット内にある、あらゆる物を剥がし、壊してしまう…
- ・ 壁紙、カーテンレール
- ・ 他者の居室窓の安全ロックを壊し、網戸のシールなどを剥がす
- ・ 電気コードのカバー
- ・ シャワーチェアのカバー等…



## 課題②に対して

- ・法人主催の「自閉症プラスワン」という2年間の勉強会に10名の支援員が参加し、アセスメント力を高める。

# 課題②に対して

- ・ アセスメントをとりなおす。



文字とイラストのマッチング

# 課題②に対して

## ●アセスメントをとってみて

### ①文字、数字の理解

- ・なぞり書きはできる。
- ・マッチングはできる。
- ・意味理解までには繋がっていない面がある。

### ②コミュニケーション表出

- ・ヘルプをうまく表出できると…

# 今後のKさんの支援

- ・ 今までのアセスメントを土台に一から支援を組み立てていく。
- ・ Kさんが地域の中で、自分らしく過ごしていけるように、学びを続け、支援に活かしていきたい。

ご清聴ありがとうございました